製品名: オレキシン R-1 ウサギポリクローナル抗体
カタログ番号: APRab15504
研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	HCRTR1
別名	HCRTR1; Orexin receptor type 1; Ox-1-R; Ox1-R; Ox1R; Hypocretin receptor type 1
遺伝子 ID	3061.0
SwissProt ID	O43613
免疫原	抗血清はヒト HCRTR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲：298-347

背景

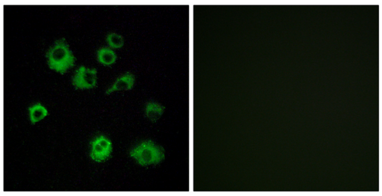
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、摂食行動の調節に関与する G タンパク質共役受容体である。コードされるタンパク質は、視床下部の神経ペプチドであるオレキシン A に選択的に結合する。関連遺伝子（HCRTR2）は、オレキシン A とオレキシン B

に結合するGタンパク質共役受容体をコードする。[RefSeq提供、2009年1月],機能：オレキシンAに対する中等度選択的な興奮性受容体であり、オレキシンB神経ペプチドに対してはより低い親和性で結合する。ヘテロ多量体Gタンパク質のG(q)サブクラスとのみ共役し、ホスホリパーゼCを介したシグナル伝達カスケードを活性化すると考えられる。,類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。,

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



HCRTR1抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。